

ユニツイン／ユネスコチェア設立の審査基準(仮訳)
(2022年3月改訂ガイドラインより抜粋)

<必須条件>

ユニツイン／ユネスコチェアの申請は、以下の評価基準を全て満たす必要がある。

適格性

○**高等教育機関**: 国または地方自治体に認可等された高等教育機関からの提案であること。

※現時点においてユネスコ加盟国ではない国を含む全ての国の高等教育機関からの申請を受け付ける。

範囲／焦点

○**ユネスコ優先課題への貢献**: 中期戦略(2022-2029)と事業予算(2022-2025)に示されたユネスコの優先事業のうちの1つ以上に貢献すること。

アプローチ

○**統合的な取組**: 研究、教育／訓練、地域社会の関与を統合した実施計画を提案すること。

○**ユネスコ及びネットワークへの参画**: ユネスコチーム、他のユニツイン／ユネスコチェア、ユネスコネットワーク、ユネスコカテゴリーII センターやその他のパートナーと構築した(または構築することを予定している)パートナーシップを示すこと。

○**南南協力と三角協力**: 大学間ネットワークや協力を通じた南南協力や三角協力を行っていることを示すこと。

能力

○**必要な専門性**: 提案されたテーマにおいて、チェアホルダー／コーディネーターと実施メンバーが、質の高い刊行物の作成能力を含めた、教育的及び関係する専門性を有していることを示すこと。

○**大学間協力及びネットワーク形成の能力**: 他の高等教育機関と協力し、学術的な流動性・学生交流の機会を提供し、知識共有や普及活動を実施することができることを示すこと。

○**財務的持続可能性**: 4年計画で想定された活動を実施するため、十分な資金が確保されているか、確保する計画があること。

<望ましい条件>

以下の評価基準を一つ以上満たした申請が優先される。

高等教育機関もしくは研究機関

- (ユニツイン／ユネスコチェアの数が)不十分な国や地域:①ユニツイン／ユネスコチェアが無い国 ②アフリカ諸国 ③小島嶼開発途上国(SIDS)の機関
- 新たな機関:まだユニツイン／ユネスコチェアを設置していない機関。
- ジェンダー:女性のチェアホルダーを推薦している機関。

範囲／焦点

- 地理的範囲:取組が、多国間、地域間、国際的な範囲にわたっていること。プロジェクトの優先事項が、アフリカに焦点をあてている、及び/またはアフリカの利益に資するものであること。
- 学際的取組:取組が、学際的／複数領域にわたっていること。
- 未来志向の観点:取組が、先見性を持ち未来志向であること。
- 新たなテーマ:提案が、その国の他のユネスコチェアによって扱われていないテーマに取り組むものであること。

アプローチ

- ジェンダーレンズ:提案が、明確にジェンダー平等の問題に取り組むことを目的とした活動を伴った、ジェンダーに配慮した取組を含んでいること。